

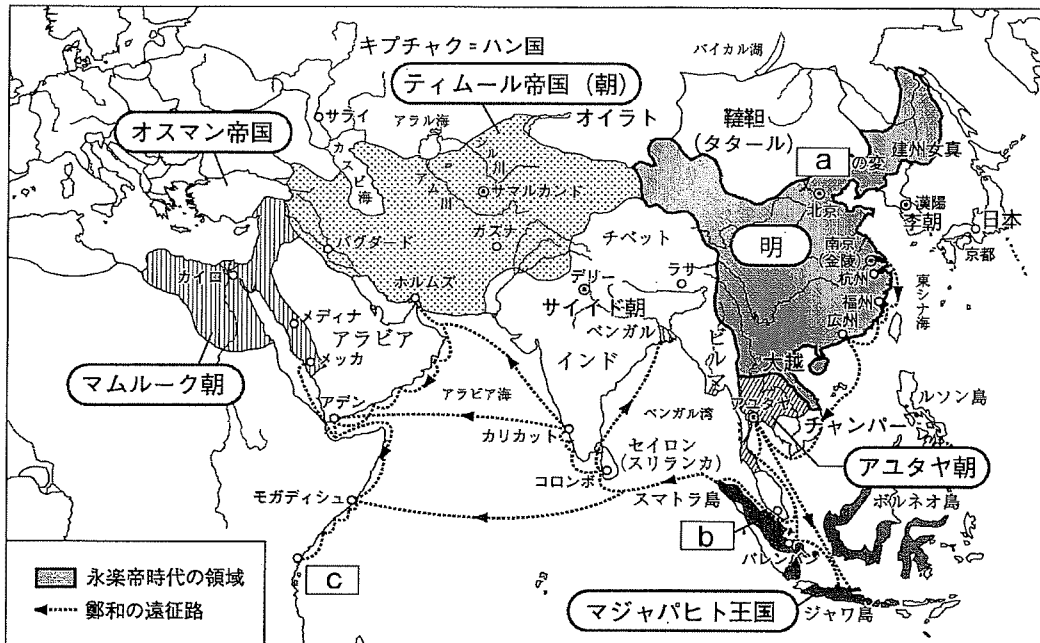
## ② 明清帝国

## 【1】 明

元末、( 1 ) の乱のなかから台頭した朱元璋は、1368年、( 2 ) (金陵) を都として明を建て、元を北方に追って中国を統一した。彼は( 3 ) 帝(太祖)と呼ばれ、最高行政機関であった( 4 ) 省とその長官の丞相(宰相)を廃止して六部を皇帝直属とするなど、統治体制を改革して君主独裁体制を確立した。また( 5 ) 学を官学として科挙を実施し、唐以来の律・令を改めて明律・明令を定めた。さらに戸籍を民戸と軍戸に分け、民戸は( 6 ) 制によって組織し、軍戸は( 7 ) 制によって軍隊に編制した。民戸に対しては、( 8 ) という土地台帳や( 9 ) と呼ばれる戸籍・租税台帳を整備して税・役を課し、( 10 ) を公布して民衆の教化につとめた。また、対外的にはモンゴル高原の( 11 ) を滅ぼし、東南沿海では( 12 ) 政策をとって民間人の海上交易活動を許さず、政府管理の朝貢貿易を推進した。( 3 ) 帝の死後、第2代建文帝が諸王抑圧策をとったことから、これに抵抗して燕王の朱棣が挙兵し、( 2 ) を占領して帝位についた(永楽帝)。この出来事は( 13 ) の役(1399~1402)と呼ばれた。永楽帝は、皇帝を補佐する役職として( 14 ) をおき、都を( 2 ) から( 15 ) に移した。彼は、北方ではモンゴル高原への親征をくりかえし、南方では陳朝(大越国)の滅亡に乗じてベトナム北部を占領したほか、イスラーム教徒の宦官( 16 ) を司令官とする大艦隊をたびたび南海諸国に派遣し、朝貢貿易を促した。

しかし、明は永楽帝の死後、北方からのモンゴル人の侵入と東南の沿海部における中国人を主とする( 17 ) に苦しめられ(北虜南倭)、国力は衰えた。15世紀半ばになると西モンゴルを基盤としていた( 18 ) がエセン(=ハン)に率いられてモンゴル高原を統一し、1449年には明の正統帝(英宗)を破って捕虜とした。この事件は( 19 ) の変と呼ばれる。エセン=ハンの死後、モンゴル高原は再び分裂状態に陥ったが、16世紀になると、元朝のモンゴル部族の後裔で東モンゴルを根拠地としていた韃靼(タタール)が強盛となり、( 20 ) は北京を包囲するなどしばしば明に脅威を与えた。

16世紀後半、万暦帝の初期には、( 21 ) の補佐によって政治改革が進められた。( 21 ) は( 20 ) と講和し、全国的な検地による財政再建をはかった。一条鞭法の普及により国家財政も一時安定したが、万暦帝の後半期になると、豊臣秀吉の朝鮮出兵(壬辰・丁酉の倭乱)に対する朝鮮(李朝)への援軍の派遣や、中国東北地方のツングース系( 22 ) との戦いなどによって軍費が増大し、財政難に陥った。さらに、( 23 ) 派と非( 23 ) 派の党争によって政治も混乱した。こうしたなか増税に苦しむ農民が反乱を起こし、1644年には( 24 ) の率いる反乱軍に北京を占領され、( 25 ) 帝は自殺して明は滅亡した。



明代のアジア

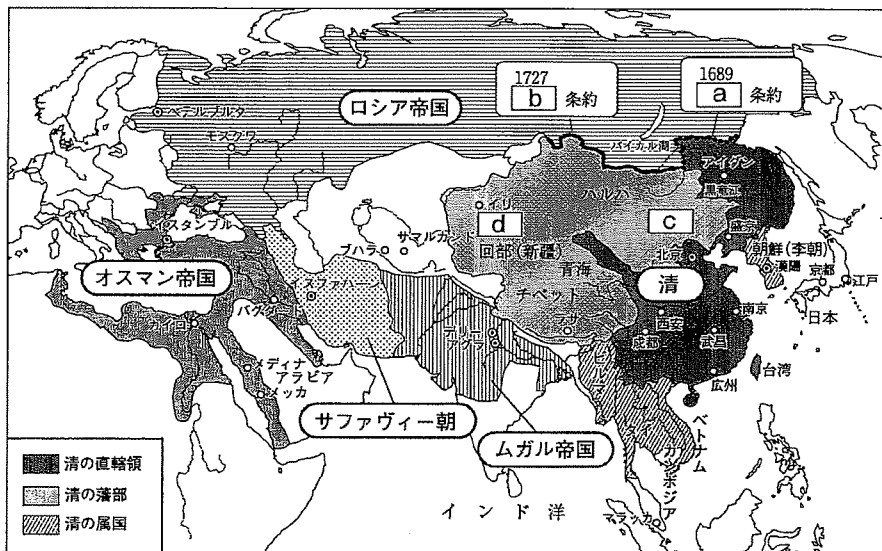
- a の変…オイラトのエセン (=ハン) が英宗を捕らえた事件
- b …鄭和の遠征隊の基地がおかれた王国
- c …鄭和の分遣隊が到達した東アフリカの都市

【2】 清

かつて金を建てたツングース系の（ 1 ）人（満州人）は、明の末期に中国東北地方（満州）で勢力を強めた。建州部の（ 2 ）が女真諸部族を統一し、1616年に後金（アイシン）を建国した。彼は満州八旗を編制し、モンゴル文字を応用した満州文字を創始し、この文字は（ 3 ）（太宗）の時代に改良された。（ 3 ）（太宗）は内モンゴルのチャハルを征服して国号を清と改め、モンゴル（蒙古）八旗・漢軍八旗を編制し、ついで朝鮮（李朝）を属国とした。次の順治帝は、（ 4 ）の乱によって1644年に明が滅ぼされると、明の武将（ 5 ）の先導で中国に入って都を北京に移し、旧明軍を再編して（ 6 ）をつくり八旗の補助とした。

清は中国平定にあたり（ 5 ）らの旧明の武将を藩王として厚遇した。しかし、第4代（ 7 ）帝が（ 8 ）の廃止を決定すると、藩王らは（ 8 ）の乱を起こした。（ 7 ）帝は1681年にこれを平定し、ついで台湾に拠って反清復明をかかげた（ 9 ）一族を滅ぼして中国支配を確立した。この（ 7 ）帝から（ 10 ）帝・乾隆帝にいたる3代の時期が清の全盛期である。（ 7 ）帝は、ロシアのピョートル1世と1689年に（ 11 ）条約を結んで東北地方における国境を定め、（ 10 ）帝は、ロシアと1727年にキャプタ条約を結んでモンゴル北部でのロシアとの国境を画定し、ともに通商場を設けた。乾隆帝は、オイラトの一派である東トルキスタンの（ 12 ）部を征服した。

清は中国支配にあたって、一方では（ 1 ）人の風俗である（ 13 ）の強制や文字の獄・禁書による反清思想の弾圧など威圧策をとったが、他方、中国文化を尊重して学者・文人を優遇し、また科挙をさかんにして漢人も官僚に登用する満漢併用制（満漢偶数官制）を実施



清代のアジア

- a 条約…露清間の国境を画定した条約
- b 条約…露清間の国境を画定した条約
- c …ホントイジが制圧した内モンゴルの部族
- d …乾隆帝が滅ぼしたモンゴル系部族

するなど懐柔策も行った。官制はおおむね明の制度を継承したが、（ 10 ）帝が（ 12 ）部攻撃の際に設置した（ 14 ）が政治・軍事の最高機関となり、藩部の統治には乾隆帝時代に整備された（ 15 ）があつた。

中国の諸王朝

